



2019年2月8日

各 位

上場会社名 古河機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮川 尚久
 (コード番号 5715)
 問合せ先責任者 経理部長 三影 晃
 (TEL 03-3212-7021)

2019年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年11月7日に公表いたしました2019年3月期の通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年11月7日 発表)	174,000	7,000	6,100	4,000	99.00
今回修正予想(B)	174,600	7,700	6,500	4,500	113.80
増減額(B - A)	600	700	400	500	
増減率(%)	0.3%	10.0%	6.6%	12.5%	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	167,695	7,820	8,105	4,774	118.16

2. 連結業績予想の修正の理由

通期の連結業績予想については、前回(2018年11月7日)発表の業績予想との比較において、売上高は、産業機械部門では、大型プロジェクト案件の出来高増により、増収となる見込みです。また、電子部門では、化合物半導体用の高純度金属ヒ素が堅調で、増収となる見込みです。

営業利益については、産業機械部門では、大型プロジェクト案件および橋梁で、工事採算および原価率の改善などにより、増益となる見込みです。ロックドリル部門では、北米における油圧ブレーカの増収を主因として、増益となる見込みです。また、電子部門では、主として高純度金属ヒ素の増収により、増益となる見込みです。

なお、金属部門については、内外の不透明な情勢から、為替相場や銅価格、金価格の動向が見通せないため、前回発表どおりとしています。

以上の結果、連結全体の売上高および営業利益を上方修正し、これに伴い、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、それぞれ上方修正しています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上